

南港発電所における設備更新に係る環境影響評価方法書の届出

2023年11月20日
関西電力株式会社

当社は、南港発電所において、最新の高効率コンバインドサイクル機への設備更新のための事業性評価を実施しています。

[\[2023年3月20日お知らせ済み\]](#)

事業性評価の一環として、本日、環境影響評価法等に基づき、環境影響評価の項目、調査、予測および評価の手法等について取りまとめた環境影響評価方法書（以下、方法書）等を経済産業大臣へ届け出ました。また、大阪府知事、大阪市長および堺市長に方法書を送付しました。

南港発電所は運転開始後30年以上経過した当社で最も古いLNG火力発電所で、設備の高経年化が進んでいます。本発電所を最新の高効率コンバインドサイクル機に更新することで、発電効率が約4割向上します。

当社は引き続き、地域の皆さまや関係行政機関からのご意見を賜りながら、本件に関する検討を進め、電力の安定供給およびゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

<参考：南港発電所の設備更新計画（概要）>

	現 状	設備更新（計画）
所在地	大阪府大阪市住之江区南港南7丁目3番8号	
発電方式	汽力発電方式	コンバインドサイクル発電方式
出 力	180万kW (60万kW×3基)	180万kW級 (60万kW級×3基)
発電効率 (低位発熱量基準)	約44%	約63%
使用燃料	天然ガス	天然ガス
運転開始時期	1990年11月(1号機) ～1991年10月(3号機)	2029年度(予定)(新1号機) 2030年度(予定)(新2,3号機)

方法書等の公表及び縦覧等案内については [こちら](#) をご覧ください。

以 上